

立命館経済學

第二十六卷 第六号

昭和五十三年二月

内 容

論 説

- 外国貿易の必然性再考……………岩 田 勝 雄 1
三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と
社会政策および中間層政策の展開 (一)……………川 本 和 良 31

研 究

- 独占段階の過剰資本……………山 本 幹 夫 74
財政危機下の総需要抑制策と景気浮揚策
に関する一考察……………東 郷 久 101
独占価格の実態と方法論的諸問題……………佐々木 秀 太 121
共同研究室…………… 156

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第二十六卷・第四号

論 説

戦後日本における現実資本と

貨幣資本の展開……………小 牧 聖 徳

——量的指標と法則の貫徹——

国家と労働者階級……………三 好 正 己

——植民地労働者と民族自決権——

研究ノート

雇用理論に関するノート……………河 野 快 晴

資 料

日本資本主義確立期の資本の存在形態(四)

……………後 藤 靖

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第二十六卷・第五号

論 説

三月前期のプロイセンにおける

「社会問題」と社会政策およ

び中間層政策の展開(一)……………川 本 和 良

景気循環の一モデル……………北 野 正 一

研 究

現代日本企業税制の諸要因……………藤 岡 純 一

資 料

志布志湾漁業経済分析資料

(その二)……………杉 野 冨 明

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会